

事は本組合及各船乗組員が如何に本件に對し陰忍自重の態度を持して居つたかを立證する有力な事實である。濱田副長代理は歸神勿々本社に於ける交渉の結果を屬員に報告せんとするに先だち其乗船長崎丸着埠すると同時に屬員協會幹部に擁せられ副長代理は極力反對したるにも拘らず強て一料亭に招せられ會談の結果前記の報告諾否の回答は其翌日即ち五日に致すべき約束を得て之を本部に報告した。

本部に於ては組合最後の態度を決すべく右回答の約束當日たる十一月五日夜評議員兼常務委員會を開催した(開會當時まで昨日約束したる屬員協會の回答到達せず)郵船屬員の會するもの頗る多く滿場立錫の餘地なく場内緊張の氣分に充ち熱烈なる討議の結果一旦本組合が組合員即ち屬員の委任を受けたる以上今改めて其意見を聞く必要なこと

絶對多數を以て左の決議を爲し午後十時半散會した(此とき屬員協會側の會合は不成立に歸せりとの報告があつた)

一、吾人は此問題の貫徹に就ては最後の手段を取るにあらざれば到底解決せざるものと認む在港郵船屬員の態度既に定まる以上吾人は郵船手當半減に對し絶對に反對す

一、前項の目的を達する爲め必要な一切の行動を組合幹部に一任すし組合幹部は更に之を副長代理濱田國太郎氏に一任す

翌日朝出帆豫定の賀茂丸機關部員を先頭として當日碇泊中の外航船日光丸、盛岡丸、香取丸、大阪丸、高岡丸、博多丸、阿蘇丸、大井丸、カール丸、豊橋丸、龍野丸、若狹丸、安藝丸、

の屬員は會社に對し請暇願を提出し一齊に盟休状態に陥れり。當日會社の監督部員本部に來訪して賀茂丸屬員の盟休は組合の命令な